

平成28年度 大阪府立とりかい高等支援学校 学校教育自己診断の結果

評価ジャンル	生徒						保護者						教職員									
	回答数 85人			割合(%)			回答数 84人			割合(%)			回答数 45人			割合(%)						
	項目	肯定	否定	グラフ	肯定	否定	グラフ	項目	肯定	否定	グラフ	肯定	否定	グラフ	項目	肯定	否定	グラフ				
学校生活	1学校へ行くのが楽しい。	65	35		70	30		1子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	81	19		81	19		23学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫、改善を行っている。	91	9		81	19		
	14学校祭・体育祭・宿泊研修などの学校行事は、楽しみである。	68	32					23体育祭や校外学習・宿泊研修などの学校行事は、参加しやすいよう工夫されている。	94	6					24生徒会の運営と活動が自主的にできるよう、担当者の支援が行われている。	71	29					
	15生徒会活動に参加している。	84	16					24子どもは、積極的に部活動に参加している。	67	33												
	16クラブ活動に参加している。	64	36																			
授業	2授業は、わかりやすく、楽しい。	68	32		63	37		6子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている。	76	24		76	24		7学習形態の工夫・改善を行っている。	84	16		86	14		
	3自分の考えをまとめたり、発表することが多い。	53	47								8コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。				89	11						
	4授業の内容や教え方など工夫をしている先生が多い。	67	33																			
進路指導	5将来の進路や生き方について考える機会がある。	84	16		82	18		13福祉・労働機関等の関係機関の情報も学校から入手できる。	52	48		65	35		14生徒が将来の進路や生き方について考える機会を多く設けている。	93	7		92	8		
	6学校は進路についての情報を知らせてくれる。	90	10					14学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている	77	23					15生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択が出来るよう、きめ細かい指導を行っている。	91	9					
	7先生以外の外部の方から、進路に関する話をきく機会がある。	73	27								16進路指導において、福祉・労働機関等の関係諸機関と緊密な連携が出来ている。				93	7						
教員について	8先生には、なんでも相談できる。	44	56		58	42		27教職員は、子どもの障がいを理解している。	76	24		76	24		12教職員は生徒の意見をよく聞いている。	88	12		91	9		
	9担任の先生以外にも保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。	40	60								17教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。				93	7						
	18先生は、自分のことを理解してくれている。	61	39																			
	19先生は、みんなの意見を聞いてくれる。	73	27																			
	20学校生活についての先生の指導は納得できる。	71	29																			
人権教育	10先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	60	40		65	35		19学校は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にすることや人権を尊重する態度を育てようとしている。	84	16		81	18		13教育活動において、生徒が命の大切さや人権尊重の態度を身につけるよう配慮している。	79	21		83	17		
	11命の大切さや人権の大切さについて学ぶ機会がある。	70	30					20教職員は、いじめのない学習集団づくりに取り組んでいる。	78	22					26生徒の人権を尊重し、日常的教育活動を行っている	87	13					
								30教職員は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	82	18												
道徳教育	12社会のルールについて学ぶ機会がある	79	21		79	21								22道徳教育は、年間指導計画に基づき、継続して行っている。	71	29		71	29			
性に関する指導	13性に関する学習は、毎年あり、わかりやすく役に立つ内容である。	82	18		82	18		21性に関する指導は、段階を踏って計画的に実施されている。	82	18		82	18		25性に関する指導は、系統的・計画的に行われている。	93	7		93	7		
個別の支援								25学校は個別の指導計画・教育支援計画の目標や手立て等について、説明をしている。	93	7		91	9		5指導内容については、生徒の実態に合うように教職員間で話し合いがもたれている。	78	22		84	16		
							26個別の指導計画・教育支援計画について、内容・評価を確認する機会が設定されている。	94	6		9自立活動の指導に当たっては生徒が興味をもって主体的に取り組めるように工夫している。				67	33						
							28個別の指導計画・教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成されている。	86	14		27個別の指導計画・教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成されている。				98	2						
																28個別の指導計画・教育支援計画について、保護者に開示し説明している。	100	0				
																29個別の教育支援計画の作成、活用について、関係機関と連携を図っている。	76	24				
生徒評価								4通知表は、子どもの学習の達成度を適切に評価できるように工夫されている。	92	8		91	9									
								5教職員は、子どもの学習状況や努力を適切・公平に評価している。	91	9												
教育相談								8学校は、子どものことについて保護者の悩みや相談に適切に応じてくれる。	79	21		78	22									
								9子どもの心身の健康や障がいの状況について、気軽に学校に相談できる。	77	23												
危機管理	17地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかを、わかりやすく知らされている。	88	12		88	12		10地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	90	10		90	10		1個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	96	4		84	16		
										22学校では、子どもに関するプライバシーが守られている。	90				10		2事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、役割分担が明確化されている。	82				18
家庭との相互理解								2学校は、教育活動全般について、子どもや保護者の願いによく応えている。	82	18		76	24									
								3学習の内容・学校生活の様子を懇談や学年通信によって、知ることができる。	93	7												
								11学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	85	15												
								15PTA活動に参加しやすい。	49	51												
情報発信地域連携								7学校が保護者に出す文書・事務連絡等がわかりやすい。	91	9		84	16		18情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。	84	16		81	19		
								12学校のホームページを見たことがある。	68	32					19教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	80	20					
								17学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている。	93	7					20保護者や地域の人々と接する機会を持っている。	78	22					
交流及び共同学習								18学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を持っている。	75	25		76	24		21近隣の学校などとの校種間連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	53	47		53	47		
								29学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。	77	23												
学校組織														4この職場においては教職員の服務規律への自覚が高い。	73	27		70	30			
													6職員会議・学年会等の会議が教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	67	33							
														10教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	69	31						
研修														11研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	39	61		39	61			